

指定管理者制度管理運営評価シート

施設名称	神林有機資源リサイクルセンター	評価対象年度	令和 2 年度
指定管理者名	農事組合法人かみはやし有機 代表理事 遠山 利一	所管課	神林支所産業建設課
指定期間	平成29年4月1日～令和3年3月31日(5年間)	評価者(課長)	齋藤 雄一

①事業実績

利用実績	処理量:4,061.2t 回収数:1,656回
サービス向上の取り組み	堆肥散布面積:265.4ha(前年対比94.8%)

②管理経費

(単位:千円)

区分		前々年度 (30年度)	前年度 (1年度)	当該年度 (2年度)	合計	備考
収入	指定管理料	2,090	2,175	2,034	6,299	基本協定額:10,239千円
	畜ふん回収処理料金	5,692	5,657	5,694	17,043	回収量4,061.2t
	堆肥売上収入	7,307	7,142	6,994	21,443	販売量815.1t
	散布料金	4,922	5,402	5,301	15,625	散布面積265.4ha
	その他	3,744	3,329	▲ 248	6,825	棚卸差益、預金利息等
	計	23,755	23,705	19,775	67,235	
支出	管理経費	18,980	18,376	18,218	55,574	
	(うち人件費)	8,249	8,158	7,609	24,016	給料・賃金・社保・年金等
	(うち光熱水費)	4,582	4,586	3,834	13,002	電気・燃料・上下水道・ガス
	(うち修繕費)	4,845	4,409	5,706	14,960	攪拌機・ローダー・フォークリフト・運搬車
	(うち委託料)	1,304	1,223	1,069	3,596	電気保安管理・検査料・事務経理
	自主事業費					
計	18,980	18,376	18,218	55,574		
差引	4,775	5,329	1,557	11,661		

③評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
管理運営基本方針	基本方針の理解・周知	公の施設としての性格や管理運営の基本方針を理解し、利用者やスタッフへ周知しているか	10	4	8.0
		利用者の立場に立ち、公の施設として市民の平等な利用を確保する運営を行っているか			
(評価理由) 本施設は、神林地区の畜産農家が利用している施設で、回収した畜ふんは、有機肥料の製造を行い、主に水稻農家のほ場へ散布をされている。本年のほ場への散布面積については、前年対比94.8%(265ha)と減少したが、地区内の安定供給に努めていた。					
サービス向上及び業務改善	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や事業計画に基づいて適切に提供されたか	10	4	8.0
		サービス向上、利用促進への具体的な取り組みがされているか			
		利用者への情報提供を適時かつ十分に行っているか			
	業務改善によるサービス向上	事業計画とサービス提供に差異が生じている場合、原因究明に必要な取り組みがなされているか	10	4	8.0
		業務改善が必要な場合、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われ、効果が表れているか			
利用者の意見・要望への対応	利用者アンケート等を適切に実施・分析し、利用者ニーズの把握に努め、満足度向上のための具体的な取り組みに反映させているか	8	4	6.4	
	利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか				
自主事業の実施状況	利用者へサービス向上につながる自主事業を実施しているか	4	3	2.4	
	利用者のニーズを踏まえた自主事業を実施しているか				
(評価理由) 堆肥購入者のほ場散布については、春の散布が中心で、秋の散布が減少しているなか、秋散布の推進と地区内だけでなく地区外への販路の拡大を進めていた。					
収支計画・実績	効果的・効率的な支出	計画に基づく適正な支出が行われているか	10	4	8.0
		支出に見合う効果は得られているか			
		経費縮減の具体的な取り組みはされているか			
適切な会計管理・手続き	収入金を区分し、適切に管理を行っているか	8	4	6.4	
	指定管理業務に関して口座を分け、適正な会計処理がなされているか				
(評価理由) 運営収入については、当初計画の各収入額を上回っている。ただし、施設の機械及び設備が耐用年数を超え、累積的に修繕費が増加傾向にある。					

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
組織管理体制	適切な人員配置	必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか	4	5	4.0
	連絡・連携体制	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	4	5	4.0
	再委託管理	再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認がなされているか	4	4	3.2
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、コンプライアンスに関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	4	3	2.4
	安心・安全への取り組み	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	4	4	3.2
	コンプライアンス	個人情報保護、その他の法令順守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用がなされているか	4	4	3.2
	(評価理由) 畜ふん回収並びに処理については、適正な人員で安全に実施していた。				
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	8	5	8.0
	警備業務	施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故、犯罪等の未然防止に役立っているか	4	4	3.2
	備品管理	設備・備品の整備や整頓、利用者使用する消耗品等の補充が適切に行われているか	4	4	3.2
	(評価理由) 運営に支障をきたす機械及び設備について、定期的な点検及びメンテナンスを実施し、機械等の安定稼働に努力していた。				

④総合評価

評価点合計	81.6	評価ランク	A
-------	------	-------	---

⑤管理運営に対する全体的な評価

- ・収入については、処理量に見合う散布面積の確保が必要であり、農家の利用拡大に尽力していた。
- ・計画的に機械等の更新が行われていない中で、運用に支障をきたさないように維持管理を行っていた。また、自然災害時の点検等も適切に実施していた。

⑥次年度の管理運営に対する指導事項等

- ・産業廃棄物処理業として利用者との契約(マニフェスト)を行うように指導している。
- ・畜産農家数は減ったが、処理量的にはあまり変わらない、運搬の安全面を考慮し一度の運搬量の適正について検討を行う必要がある。

記入要領

- ・「評価段階」は5段階(5～1)により評価を行うこと。
- ・「評価点」は、配点に以下の評価段階による係数を乗じて算出すること。

評価段階	評価点係数	評価基準
5	1.0	特に優れた取り組み、対応が行われている。特に成果が現れている。仕様書等より特に優れた提案がなされ実施している。
4	0.8	優れた取り組み、対応が行われている。成果が現れている。仕様書等より優れた提案がなされ実施している。
3	0.6	適切な取り組み、対応が行われている。適切に仕様書等のとおり実施している。
2	0.4	一部改善が必要な取り組み、対応がある。仕様書等に規定されている項目を一部行っていない。
1	0.2	全面的な改善が必要な取り組み、対応がある。全面的に仕様書等に規定されている事業を行っていない。

- ・「評価ランク」については、評価点合計により以下のとおりとする。

評価ランク	区分	評価基準
S	95.0以上	管理施設運営状況が、特に優れている。
A	80.0以上95.0未満	管理施設運営状況が優れている。
B	60.0以上80.0未満	適正な管理施設運営状況である。
C	60.0未満	管理運営状況に改善の必要性がある。